

CJ-U 国際びわこ高島ステージ UCI カテゴリー・C-3

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 平野 星矢

結果 1位

開催日 5月3日(日)

開催地 滋賀県高島市朽木山スキー場

天候 曇り

コースプロフィール / コンディション

コースレイアウトは序盤にガッツし上って、中盤にガッツし下って、後半に小さく上り下りで1周のコース。路面は乾いていて、砂利が多い滑り易いハイスピード・コース。危険な一面もあり、気が抜けないコース。周回数は6周回。



レポート

今年日本では初戦となる第1戦目・朽木山大会。

僕らは既に海外で転戦をしているため開幕戦では無いが、日本のレース1戦目という事で、またこれはこれで緊張感がある。

アップの感じは悪くは無い。まあレースを走れば直ぐに分かる。

スタートは最前列真ん中に陣取る。が、目の前に側溝の蓋が出張っているのが気になる。

スタートは綺麗にペダルキャッチするが、側溝の蓋が動いて、あらかじめハマていた方のペダルが外れてしまう。少々遅れをとるが、左側が空いていたので、そこから前へ上がって行く。

オフロードに入り、路面が荒めでグリップが悪かったので、加速と出力を落として路面グリップ重視のダンシングで坦々と走って行く。

後ろと差が空き少し不安になるが、ここでペースを落としても不利になるので、踏み過ぎないように気を付けつつ進んで行く。

2周目に入る。既に先攻逃げ切りの体制に入っている。こうなったら逃げるが勝ちだが、不安材料である後半の「黄金のタレ」への恐れと、予想外で単独になってしまった事がなんだか腑に落ちず、なかなかレースに集中出来ない。

下りも何だか上手く処理が出来ていない。集中力が欠落しているように感じる。

これが終盤であるなら良いが、まだ序盤。こういう時は危険だ。

3周目。健さんとの距離感が1周目・2周目共に一緒だったので、一緒のバックにならないようにコー

スに集中して走るようにした。

少しずつ上りの集中力は戻って来た。下りも、少し集中が戻った。

同周回のフィード・エリアでは、「最後まで確り集中しろよ」と声をかけられたので、後ろとの距離感が安全になったのかなと薄々分かったが、ここで集中力を緩めると残りの周回が苦しくなってしまうので、コースの流れに集中して走るようにした。

4周目。5周目。最終周回と周回を重ねる。

思っていたより身体の調子は良いようだ。ただガレたハード・パックな路面は苦手意識が強い。

後半で修正できるかと思っていたが、思っていたよりも修正は出来なかった。

そのまま最後まで1位をキープして、初戦を優勝で終える事ができた。

日本での初戦を優勝して終える事ができて、気持も少し楽になった。

ただこれはまだ初戦であると同時に、コンディションを上げるべき所は他にあるので、確りとその時に備えた準備と調整をして行きたい。

次のレースは2週間後の八幡浜大会。次も UCI ポイントが懸かっているレースなので、次もうまく UCI ポイントを稼いで行きたい。

使用機材

バイク ANCHOR XR9(S サイズ)

コンポーネンツ SHIMANO XTR(Di2)

ホイール SHIMANO XTR

フォーク SR SUNTOUR AXON 100mm(サンツアー) 75bal

ハンドル SHIMANO PRO タルシス XC フラットトップバーDi2 バークランプ

ステム SHIMANO PRO タルシス XC ステム 110mm -6°

シートポスト SHIMANO PRO タルシス XC シートポスト Di2

ケミカル ホルメンコール

チェーン:ルーベエクストリーム、ダートプロテクター

フレーム:スポーツポリッシュ、アクアスピード

クリーナー:ルフトチェーンクリーナー、ルフトコグブラシ、ライニガー、スポーツクリーン、バイクウォッシュ、クリーナー8in1

ウェア、シューズ:ハイテクブルーフ

サングラス:ノーフォグ

サングラス アディダス イーブルアイ・ハープリムプロ
ヘルメット KABUTO(OGK)ゼナード
グローブ KABUTO (OGK) EXG-3
シューズ SHIMANO SH-XC90L
ウエア Wave One

サプリメント SAVAS(明治製菓)
 SAVAS ウォーター ボトル6本
 ピットリキッド 3本
 パワーアミノ 2500 1本
 SAVAS プロリカバリープロテイン 1食分

